

## シリーズ A 総額 16.5 億円の資金調達を完了

-イメージ認識型高速セルソーティング技術による革新的な治療・診断の実現を目指す-

AIが駆動する次世代型の超高速・高精度なイメージ認識型のリアルタイム細胞分離システム(以下、「イメージ認識型高速セルソーティング技術」)の研究開発を行うシンクサイト株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役:勝田 和一郎)は、スパークス・グループ株式会社を運営者とする「未来創生 2号ファンド」をリード投資家とし、伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社を運営者とする「テクノロジーベンチャーズ 5号投資事業有限責任組合」及び芙蓉総合リース株式会社を含めた3社を引受先とする第三者割当増資を実施しました。

昨年実施したSBIグループ、合同会社リアルテックジャパンを運営者とする「リアルテックファンド 1号及び2号投資事業有限責任組合」及び大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社を運営者とする「OUVC1号投資事業有限責任組合」の3社を引受先とした第三者割当増資と合わせて、シリーズ A 投資ラウンドにおいて総額 16.5 億円の資金調達を完了しています。また、スパークス・グループ株式会社より、豊富な臨床経験及び研究経験、金融機関での経験を持つ櫻庭茂樹氏(医師、医学博士、公衆衛生学修士)が社外取締役として着任します。

### ■ 資金調達の背景及び目的

当社は、2016年2月の設立以降、当社が独自に開発したイメージ認識型高速セルソーティング技術であるゴーストサイトメトリー技術(以下、「GC技術」)の研究開発を行ってきました。単一細胞計測技術は、がんや免疫疾患を始めとする病態の解明や病気の診断など、生命科学研究や医療において基盤となる重要な技術であるものの、従来は単一細胞から取得する情報量と分離スピードを両立させることが困難でした。そこで、シンクサイトは革新的な高速イメージング技術と機械学習、マイクロ流体技術を融合した GC 技術を世界で初めて開発し、2018年にその成果を科学誌 Science に発表しています。

その後、再生・細胞医薬、創薬及び医療検査診断の領域において、製薬企業、医療機器メーカー、研究機関等と GC 技術を利用した共同研究を進めています。新型コロナウイルス感染症に対する治療法開発にあっても、細胞を用いた治療や細胞の形態変化を観察する創薬スクリーニング手法が試みられており、GC 技術の活用が期待されます。今回の資金調達により、このイメージ認識型高速セルソーティング技術を利用した各領域における共同研究を更に推し進め、革新的な治療や検査診断の実現を目指します。同時に、事業拡大に伴い人材を拡充し、大きな需要の見込まれる米国市場の事業開発も積極的に進めていきます。

### ■ 引受先

- ・ 未来創生 2号ファンド(運営者:スパークス・グループ株式会社、<https://www.sparx.jp>)
- ・ SBIグループ(<https://www.sbigroup.co.jp/>)
- ・ テクノロジーベンチャーズ 5号投資事業有限責任組合(運営者:伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社(ITV)、<https://www.techv.co.jp/>)
- ・ リアルテックファンド 1号及び2号投資事業有限責任組合(運営者:合同会社リアルテックジャパン、<https://www.realtech.fund/>)
- ・ OUVC1号投資事業有限責任組合(運営者:大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社、<https://www.ouvc.co.jp/>)
- ・ 芙蓉総合リース株式会社(<https://www.fgl.co.jp/>)

## ■ 今般の引受先からのコメント

スパークス・グループ株式会社 代表取締役副社長 深見 正敏 氏

「AIを活用した医療技術が日々発表され、現在は次に来るであろう AI 医療のまさに黎明期の様相を呈しております。そのような中で、シンクサイト社が持つゴーストサイトメトリー技術(GC 技術)は、AI、高速イメージング技術、マイクロ流体技術という先端技術を組み合わせた唯一無二のイメージ認識型高速セルソーティング技術であり、製薬・診断分野の課題解決に資する革新的な基盤技術になると確信しております。

いかなる良い治療法でも、高額すぎると患者様には十分に届きません。高い治療効果とともに高額な薬価でも話題になっている CAR-T 療法は、その一例かもしれません。今後、血液がんから固形がんへと適応範囲が広がることが予測される CAR-T 療法の治療効果を高めつつ、製造コストを抑えることに貢献しうる GC 技術は、がんと闘う患者様の福音となる可能性があると考えております。

新型コロナウイルス感染拡大により、今ほど医療の大事さを感じる時はございません。GC 技術は創薬スクリーニング手法として新型コロナウイルスの治療法開発にも用いられる可能性があり大いに期待しております。未来創生ファンドとして、優れた治療法を生み出す基盤技術を有するシンクサイト社を全力で応援してまいります。」

伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社(ITV) パートナー 小川 剛 氏

「単一細胞計測にイノベーションを起こす“ゴーストサイトメトリー技術“、またその技術を開発し再生・細胞医薬、創薬及び医療検査診断の領域へと適応する優秀なチーム。シンクサイト社が実現する革新的な治療や検査診断は世界中の多くの人を助け、新型コロナウイルス感染症に代表されるような未知の疾患との闘いにも貢献し、幸せに満ちた健康な未来を創ると信じて止みません。このような彼らのビジョンに共鳴を受け、私たちも一緒に実現に向け伴走させていただきたく出資を決めさせていただきました。投資家として同社を世界有数の企業にすべく経営支援から営業支援までトータルでサポートさせていただきます。」

芙蓉総合リース株式会社 常務執行役員 織田 寛明 氏

「芙蓉リースグループは、「医療・福祉」を戦略分野の一つと位置づけ、社会課題の解決を通じた事業の成長を目指しています。この度の出資を機に、シンクサイト社が開発する製品の導入が促進されるよう、リースをはじめとしたファイナンスサービスやノウハウを提供し、同社が目指すライフサイエンス及び医療の発展と革新の実現に貢献していきたいと考えています。」

## ■ シンクサイト株式会社

シンクサイトは、東京大学及び大阪大学で生まれた先端技術を元に、ライフサイエンス及び医療の発展と革新を目指すベンチャー企業です。先端イメージング、機械学習、マイクロ流体等の異分野技術を組み合わせて、次世代型のイメージ認識型高速セルソーティング技術を開発しています。この基盤技術を用いることで、新しい再生・細胞医薬や創薬、医療検査診断を実現させ、革新的な治療や診断に貢献することを目指しています。2019年6月には、経済産業省よりJ-Startupの1社に認定されています。詳しくは、シンクサイトのウェブサイト(<https://thinkcyte.com/>)をご覧ください。

## ■ 会社概要

社名	シンクサイト株式会社 ThinkCyte, Inc.
所在地	東京都文京区本郷 7-3-1
代表取締役	勝田 和一郎
設立	2016年2月
URL	<a href="https://thinkcyte.com/">https://thinkcyte.com/</a>